創立明治６年　たがやせ　心と　体と　未来を

# 矢切小だより

令和４年９月１日
学校だより　Ｎｏ.５
松戸市立矢切小学校
校　長　藤﨑　裕二

矢切小ホームページ http://www.matsudo.ed.jp/~yakiri-e/

実るほど　頭を垂れる
稲穂かな

４２日間の夏休みが終わり、子供たちの笑顔と元気な歓声が学校に戻ってきました。保護者の皆様には、夏季休業中のお忙しい中、個人面談においでくださいましてありがとうございました。保護者の皆様と学校で共有したことを、これからの教育活動に生かしてまいります。

夏の風物詩の一つに「高校野球」があります。一つ一つのプレーを全力で行う姿は、観戦している人に勇気と希望、感動を与えてくれます。今年は、仙台育英の須江航監督の優勝インタビューの言葉が話題となっています。監督は選手一人一人に目を配りしっかりと見ている。他者に配慮し尊重している。全国の高校生をリスペクトしている。言葉の持つパワーや言葉の大切さを感じさせてもらった感動的なインタビューでした。子供たち一人一人をよく見て、よく話を聞き、言葉を大切に使っていくように努めていきます。

８月２３日（火）から２日間、５年生は茨城県の「さしま少年自然の家」に林間学園に行きました。野外炊飯でのカレーライス作りやキャンプファイヤー、オリエンテーリングなど、仲間と仲よく協力する中で、友だちのよさや新たな一面を発見するなど、充実した林間学園になりました。全てがよい体験となりました。

９月２日に５年ぶりの「小中合同引き取り訓練」を実施します。松戸市内において、震度５強以上の地震が発生したときに、保護者による児童生徒の引き取りが円滑かつ確実に行うことを目的として行う訓練です。有事の時につなげる訓練となります。ご協力よろしくお願いします。

今日から２学期開始となりました。新型コロナウィルス感染が多い状況です。感染拡大防止を第一として教育活動を進めてまいります。教職員が一つになり、子供たちの健やかな成長に全力を尽くしてまいります。１学期同様、保護者・地域の皆様をはじめ、関係するすべての皆様の変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

藍染め体験

野外炊飯

キャンプファイヤー

ＡＳＥ

## 今月の話

「明日（あす）は檜（ひのき）なろう」　井上靖作『あすなろ物語』を読んで

あすなろの木は、檜よりも小さいことが多いため、「檜のような立派な木になりたい」という想いが名前に込められています。未来に希望をもって、成長していきましょう。